

iwate

*Little piece* →

taiwan

岩手と台湾

Iwate to Taiwan





岩手にいる5人の学生が、  
台湾を旅して感じた新鮮な気持ちを  
一冊の小さなトルプレスに  
冷凍保存しました。

どうか、手に取ったあなたに  
解凍してもらえますように。

あなたの知らない「岩手と台湾」が、  
きっと隠れているはず。

さあ、

台湾を旅しよう。

※本誌に掲載の内容は本誌発行時点のものです。





ここは高度10000m地点。  
空のスペクトルは冷えた青色を吸収して、  
熱した赤の光を放出しはじめた。  
燃えるように漂って機体を包み込んでいく。

もうすぐだ、もうすぐで辿り着く。

涼しさの残る残暑がもう懐かしい。  
猛暑の世界はすぐそこまで来ている。  
旅で最も高揚する瞬間は、  
目的地へ向かうとき。



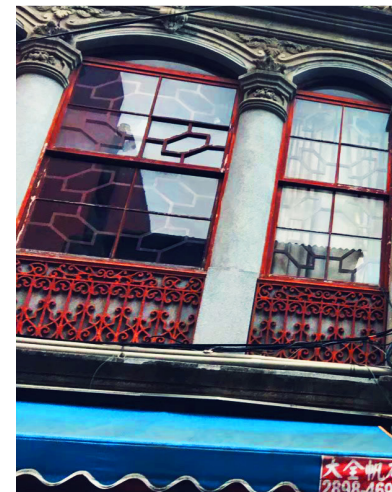
## 小緑人

現地に到着！街に出ると目に飛び込んでくる。  
信号機の子、「しゃおりゅうれん」っていうらしい。  
小走りして歩いている人をせかしたり、自転車に乗ってたり、  
恋人を連れて歩いたりするんだって。  
プロポーズして赤ちゃんが生まれたって小緑人もいるみたい。  
なんかさ、いいよね、そういうの。  
今日から帰るまでに、たくさん出会えたらいいね。  
あ、そろそろ信号変わっちゃう！急がなきゃ！

見上げたその先。  
なんか、自由気ままで、  
乱雑な感じ。



目的地はここじゃない、  
早く進まないと。



だけど目が離せなくなる。  
強烈に引き寄せられる。



この光景、  
至る所で遭遇する。

神出鬼没、要注意。

街 = Art Gallery

たくさん歩いたあとの  
みずみずしい一口。

どこか懐かしいパッケージ。



少し休んだら

お腹もすいてきた。



一口目にとってもわくわくする。  
ずっと前から来るって決めていた。  
う〜んこれこれ、台湾のあじ！  
ひとクセあるけど、それが美味しい。





象  
山

[illegible]

旅人になって、  
はじめて気づく。



「どんな味がするんだろう。」

見たことのない食べ物が  
スポットライトに照らされている。  
眺めていると店員さんが  
「コレおいしいよ!」  
と、試食をさせてくれた。  
この世の「甘い」を凝縮した味がした。





夕食後、ただホテルへ帰るのが勿体なくて  
知らない道をひたすら歩いてみる。

ネオンに吸い寄せられる虫の気持ちが、  
今なら少しわかる。



## 朝食の定番、 ダンピン 蛋餅。

昨日の余韻が少しだけ残る朝。  
帰りの準備をして、朝食を食べに出かけた。

つけダレを選べず迷っていると、  
店員さんが辛いのと普通のを選んでくれた。  
なにげないやりとりだけど、  
自分で注文できたことがうれしくて。  
これだからローカルフードはやめられない。

いわてで待つ大切な人に、  
お土産を買いました。  
絵のパズルです。



# 旅が、 終わる。

帰る前にもう一度、  
昨日の景色を見に象山へ。

お昼に食べ過ぎたこととか、  
旅が終わったあとの毎日とか。

そんな事がもう、  
ここに立ったら  
全部どうでもよくなった。

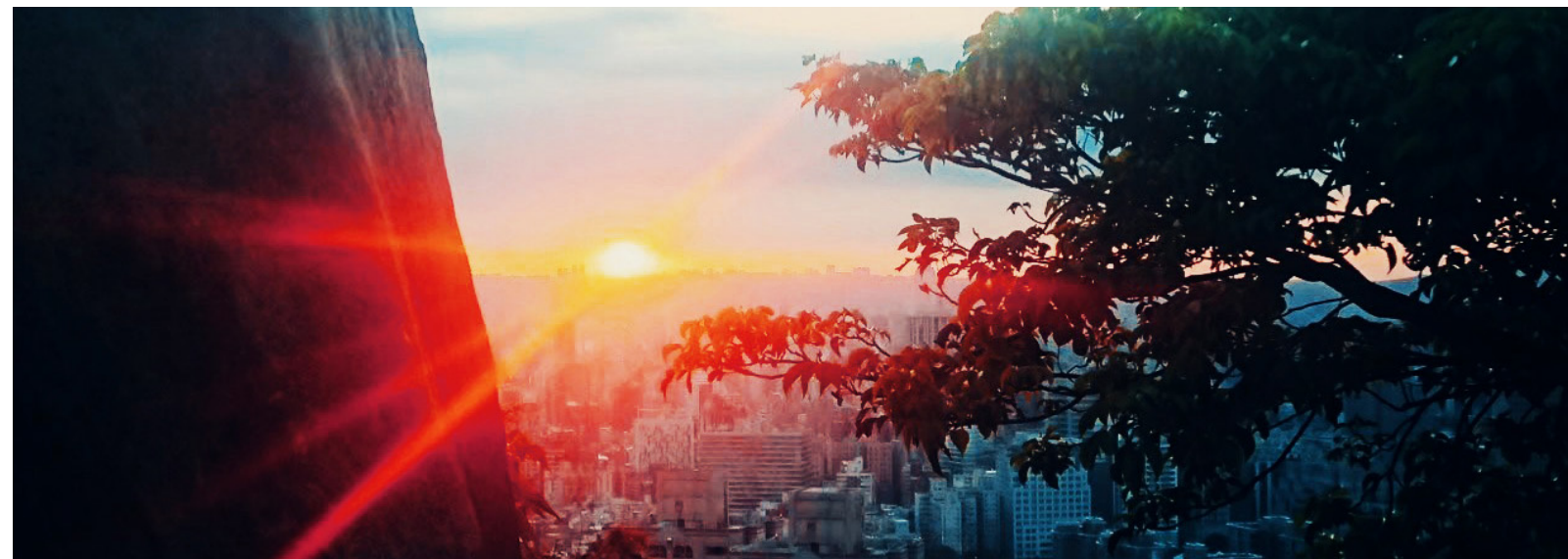
この一瞬を目に焼き付けたら、  
それでいいと思った。

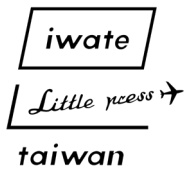
台湾の夕日は  
消えかけの線香花火の色。

こらえきれずに時計を見る。

午後5時56分。  
日没まであと少し。

この時がずっと  
続けばいいのに。





つなごう

いわてとたいわん

iwate to taiwan(いわてとたいわん)は、「いわての学生」という独自の目線とアプローチから、岩手と台湾のあいだに人のつながりを生み出し、相互の交流を促進することを使命とするプロジェクトです。

プロジェクト名のなかには、前後の言葉同士を「つなぐ」日本語の接続詞「と」と、行き先へ「向かう」ことを表す、英語の前置詞“to”の、2つの意味が込められています。いわてににいる人びとが、自ら台湾という地に引き寄せられ、知りたい、行きたいという気持ちになることが2つをつなぐ最初の一步になると、わたしたちはそう考えて、このリトルプレスをつくりました。

いわてとたいわん、いわてとたいわん…。繰り返し口ずさんでみると、どことなく親しみが湧いてきませんか。じっくり、でも着実に、いわての若い人たちにとって、台湾と結んだつながりが当たり前で、心躍る、いわてを好きになる理由の一つになっていくことを、願っています。

あなたが見つけた、**たいわんの魅力**、  
いわてのみんなにシェアしませんか？

## # イワテトタイワン

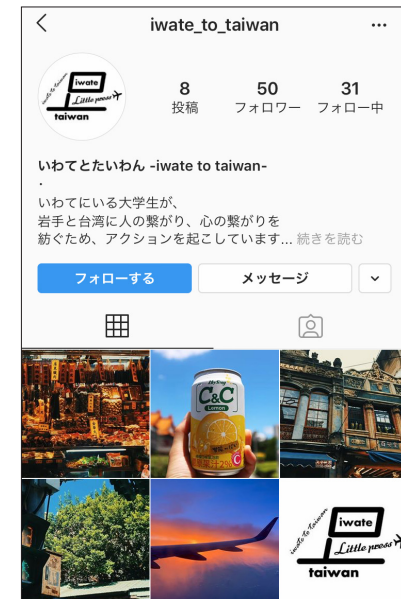
Instagram の投稿に、このハッシュタグを

つけるだけでシェア完了！

「すてき！」と思った写真や気持ちを

みんなと共有できたら、もっと素敵な思い出に…。

シェアした写真が次号のリトルプレスに掲載されるかも？



IWATE TO TAIWAN



Instagram公式アカウント  
「いわてとたいわん」の  
ログインはこちらから。



# 台湾にある 岩手

IWATE

西門紅樓(シーメンホウロウ)

士林夜市(シーリンヤッシー)

岩手県庁(イワテケンチュウ)

# 台湾 岩手にある

TAIWAN

牛肉麵(ニョウロウメン)

盛岡冷麺

材木町よ市

## CONNECT PERSON no.1

～台湾と岩手を繋ぐ人～

チン エンユ

陳 澄羽

高雄市出身。現在は横浜市に在住。4年前に岩手を訪れた際、盛岡の東家本店でインターンをしていた。台湾に日本を紹介する情報誌、「秋刀魚(サンマ)」で本屋めぐりのコラムを執筆している。

## 25歳の私は、心の旅に出た。

2014年、25歳になった私に一つのプレゼントをあげたくて、日本へ旅をした。最初、日本文化の中心としての京都で半年暮らしてみた。とても楽しかったけれど、でもやはりそこは観光地だった。

日本人の本当の顔はなんだろう？あの3・11に遭遇し、3年も経た東北はどうなっているんだろう？〈雨ニモマケズ〉を書いた宮沢賢治の「イーハトーブ」はどんな所だろう？さまざまな疑問を抱いて、北に向け旅を始め岩手県盛岡市にたどり着いた。

季節は晩秋、台湾の私にとってはもう冬の気分。あつというまに久昌寺のイチヨウの葉は黄色になって、中津川にはサケが遡上し、盛岡城跡公園の黒い段々の石垣の上に白雪、高松の池には北から来た白鳥たちが集う、マンションの前に焼き芋の移動販売車が湯気をあげる。少しずつ、私の心のなかに盛岡という小さな故郷が生まれていた。

とても寒いけど、人はすごく暖かい。偶然が重なり、名物「**わんこそば**」のお店の東家というところで働くことになった。びっくりするくらい忙しくて、慣れるまで、ちょっと時間がかかったけれど、みんなが私を仲間に入れてくれた。いろいろな気遣いをもらった。結構面倒をかけたこともあったよね？でも盛岡のみんなは私のことをまるで自分の娘のように思ってくれた。不思議な幸

せを感じた。休みの日には沿岸にもいった。巨大な被害に遭った人達がゼロから頑張っている。なくなった絆をもう一度つなげていこうとする、人の強さを確かに感じた。

最初に感じた日本のイメージは徐々に変わっていった。盛岡は私の第二の故郷になっていた。台湾に帰ってから、人生の大きな波に遭う度、常に盛岡にいる時を思い出した。

たったひとりで月の光がキラキラしている雪の積もった所で歩いて、雪がしんしん降る音が心に響いている。心のよりどころ、確かな心の繋がりがあるとき始まった。

## KEYWORDS

### 宮沢賢治

日本の詩人、童話作家。仏教(法華経)信仰と農民生活に根ざした創作を行った。作品中に登場する架空の理想郷に、郷里の岩手県をモチーフとしている。出身地は岩手県花巻市。

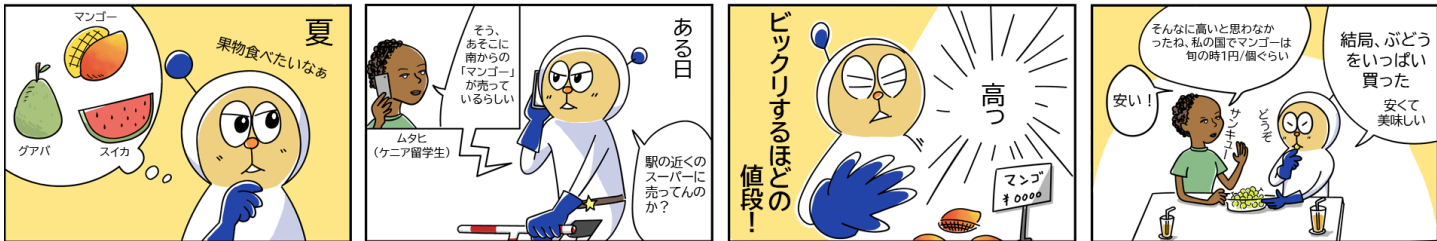
### イーハトーブ

宮沢賢治による造語で、岩手県をモチーフとした賢治の心象世界中にある理想郷を指す言葉。

### わんこそば

熱いそばつゆをくぐらせた一口大のそばを客のお椀に入れ、それを食べ終わるたびに、給仕がそのお椀に次々とそばを入れ続け、それを客が満腹になりふたを閉めるまで続ける岩手の伝統的な郷土料理。

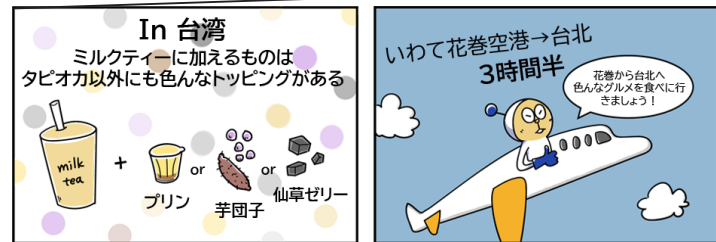
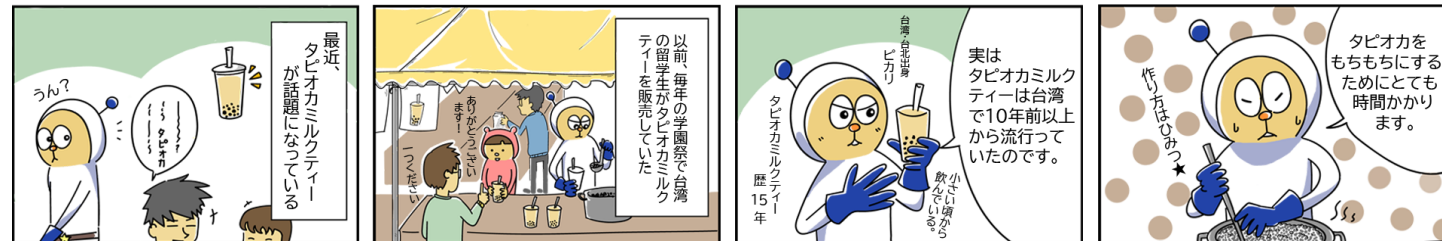
マンゴー編



いわてとたいわんの冬編



タピオカ編



**ピカリ**  
盛岡に住んでいる台湾留学生。甘いものが大好き。日本語の勉強を頑張っている。



**ムタヒ**  
盛岡に住んでいるケニア留学生。毎日肉と果物をたくさん食べている。



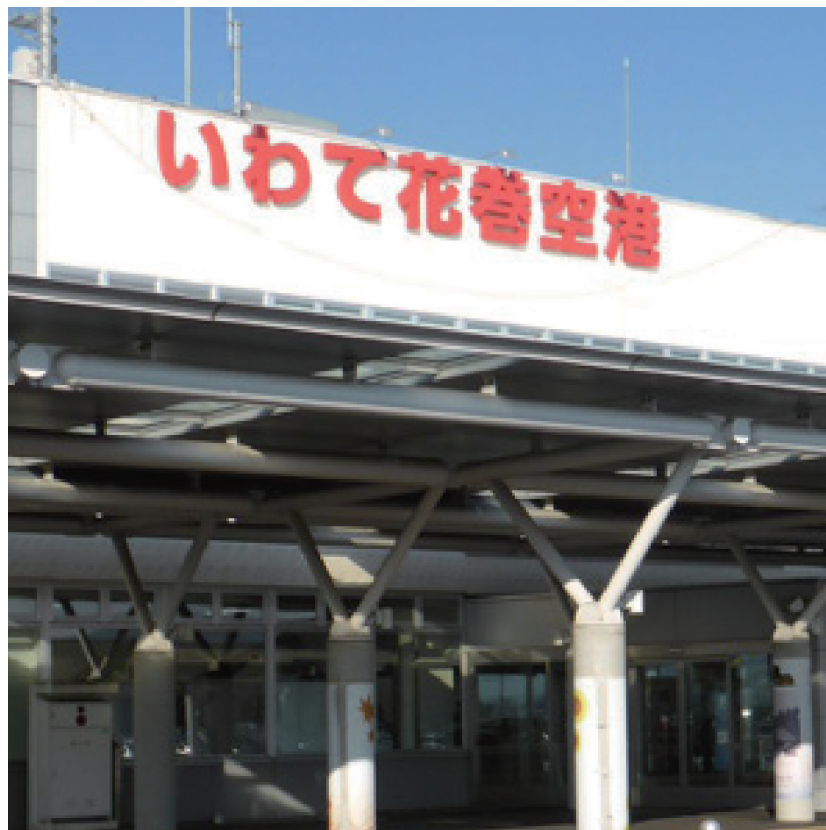
**小樹**  
台北に住んでいるピカリちゃんの家族。タピオカ紅茶が大好き。

CONNECT PERSON no.2

～台湾と岩手を繋ぐ人～

コウ キョクセイ  
**高 鈺晴**

台北市出身。岩手に4年半在住していた。台北でサラリーマンをする傍ら、アマチュア漫画家として活動している。2018年よりいわてマガジンにて「盛岡 x 台北」の連載を開始。第7回いわてマンガ大賞特別賞受賞。



# IWATE TO TAIWAN

## # イワテトタイワン

台湾を旅して、はじめて気づきました。  
岩手と台湾の空をつなげる場所は、  
思ったよりも近くにあります。

# いわて花巻空港



いわて花巻空港と  
台湾を結ぶ、国際定期便。

定期便は毎週水・土に  
台北桃園へ飛んでいます。

詳しくは、こちらから →→→



いわてとたいわんの、  
つながりかた。

Instagram ***hanamaki.airport***  
いわて花巻空港

空港までのアクセス情報



盛岡駅から空港まで、  
車で片道45分。  
※無料駐車場、利用できます。



シャトルバスも運行中。  
盛岡駅～いわて花巻空港経路



発行日 2020 年 4 月

発行者 iwate to taiwan いわてとたいわん

代 表 keigo Yoshinaga/age22

Honoka Tamaki/age22

Aya Miura/age23

Mio Yamashiro/age22

Memi Saito/age19

iwate to taiwan [いわてとたいわん] は、  
岩手と台湾をつなぎ、交流を創造するプロジェクトです。

岩手大学 Let's ビギン採択プロジェクト

編集・デザイン kuromame

Instagram : iwate\_to\_taiwan

#iwatetotaiwan #いわてとたいわん

Facebook : いわてとたいわん

Contact : iwate.tsunago.taiwan@gmail.com



